

科学部がつくば研修に行ってきました！

8月15日～16日に、本校科学部がつくば研修に行ってきました。

1日目の研修で『AIST-Cube』を訪れました。新事業創出をめざす企業、研究を志す学生をはじめ、産総研グループに関心をもつ方たちと、研究成果を体感しながらコミュニケーションを深め、互いに刺激しあうことで、新たな価値の創出につなげていくための施設で、最新の研究成果にとどまらず、その成果が社会に実装されたらどうなるのかなど“ちょっと先の未来”と出会える空間の中で、研究の最前線を体験してきました。午後からは『サイバーダインスタジオ』で人・ロボット・AI・情報系の融合複合技術を駆使したロボット/IT産業についての見学研修を行いました。『地質標本館』では、本校運営指導委員長で、筑波大学で長く教授をされてきた久田健一郎先生に急遽来ていただき、地球の姿とその歴史、さらに個々の地質現象の紹介とともに、これらの本質に関わる情報を分かりやすく説明をしていただきました。

2日目は、午前中に『地図と測量の科学館』で、地図や測量に関する歴史、原理や仕組み、新しい技術や、私たちの生活にかかせない地図や測量の役割を、楽しみながら見学できました。『つくば実験植物園』では日本に生育する代表的な植物をはじめ、世界の熱帯や乾燥地に生育する植物、私たちの生命（いのち）を支える植物、筑波山で見られる植物など、3000種類を見学しました。つくばセンターで昼食後、『物質材料研究機構』に移動し、社会ニーズに応える研究をはじめとした様々な物質・材料研究についての実際を学ばせていただきました。その後、宇宙開発の重要拠点となっている『JAXA 筑波宇宙センター』にて、宇宙航空分野の基礎研究から開発・利用に至るまでを見学させていただきました。

この2日間、普段は経験することが出来ない貴重な経験と学びを得ることができ、充実した研修となりました。



（株）トモノカイ、文科省の自由すぎる研究EXPO2025に科学部が入選しました！

（株）トモノカイ、文科省の自由すぎる研究EXPO2025に本校科学部の4つの班が出場しました。30企業と大学が審査員として、1次審査は論文、2次審査は発表動画で審査され、出場したすべての班が審査を通過し、入選しました！

班名	テーマ
マグマ班	「豪州 NSW 州南東部 Bingi Bingi Point 複合深成岩体のマグマ分化末期の環境」
ニハイチュウ班	「ニハイチュウの生存に最適な pH の解明」
サボテン班	「サボテン、トウモロコシ、ヒメムカシヨモギ、アレチスビトハギにみられる規則的な配列の類似性」
磁性流体班	「磁性流体に加えたさまざまな大きさの外部磁力の影響を知る方法の提案」